

[付録2] 植物と人々の博物館の活動 2015年度の記録

Appendix 2: A Record of Plants and People Museum in 2015

1. 日本村塾

Nihonmura College for Environmental Studies
伝統知を学び合うことで、「素のままの美しい暮らし」(Sobibo)を勧める。

1) 民族植物学ゼミ 第2回

期日: 12月19日(土) 13:00~17:00
場所: 東小金井駅開設記念館 マロンホール会議室
内容(読書会): 推薦図書『シャーマンの弟子になった民族植物学者の話』、マーク・プロトキン著、築地書館

2) 自給農耕ゼミ 第3回

期日: 11月8日(日)
場所: 藤野倶楽部、結びの家(神奈川県相模原市)
内容: 収穫した雑穀の料理教室

3) 扶桑くにゼミ 第3回

期日: 2016年2月
内容(読書会): 推薦図書『銃・病原菌・鉄』、ジャレッド・ダイヤモンド著、草思社

2. 民具・標本の整理

3. パネル・民具などの展示

期日: 9月1日~10月30日
展示テーマ: 「雑穀街道」
内容: 雑穀をモチーフにしたテキスタイル、種子とその解説、雑穀街道の現代史「古守豊甫医師らによる長寿村桐原調査から、現在のエコミュージアム日本村づくりまで」など。村人からはとても好評で、観光客も見てくださっていた。内容を少し更新して、相模原市緑区牧野「藤野倶楽部百笑の台所」に隣接した「結びの家」

で継続している。

4. 雑穀見本園

見本園には団子麦(もち性オオムギ)を蒔き、日本で栽培されている雑穀6種とアマランサス、キヌアの採種。

1) 収穫したオオムギをその後、西原の中川さんに搗精していただいて、丸ムギとして、希望者25名ほどに配布した。

2) 雑穀栽培見本園のキビは黒澤さんが9月初めに収穫、アワは10月14日に収穫した。収穫物は藤野陶器祭りで、金子さんらがパンを作る予定。

3) オオムギは10月19日に播種した。

4) 「道の駅こすげ」駐車場脇の雑穀見本園の7種の雑穀は、道の駅の展示終了に合わせて、10月30日に収穫した。

5. 民族植物学ノオト

第7号を2014年10月31日に、第8号を2015年9月30日に各300部発行し、会員や研究者などに配布した。

6. 森とむらの図書室

藤野倶楽部の安心農園に藤野分室を置き、原沢文庫を順次移動して、藤野倶楽部、トランジション・タウン藤野/お百姓クラブ他に、日本村塾/自給農耕ゼミに合わせて活用していただく。

この蔵書は、東京学芸大学の故・原沢伊世夫教授のご家族から寄贈されたもので、農林業関係の図書、特に植物病理学、農業教育や日本各地の植物誌が含まれている。藤野倶楽部の桑原敏勝代表のご厚意により書架が完成(ある映画の撮影で舞台になった部屋)。

小菅の書庫には、木俣文庫を順次移動。生物学、

栽培植物起源学、文化人類学、環境教育、農業
林業政策、などが主なものである。

7. 主な来訪者

3月：タイからチナタット先生

4月：大谷さん一家（つぶつぶマザー）

10月：玉手山クラブ（秀明自然農法の会）

12月：若林先生夫妻

8. その他

生物多様性アクション大賞 2015 に応募したと
ころ、「審査員賞」を受賞した。

